

三九〇四番

梅うめの花はな 何時いつは折おらじと 厭いとはねど 咲さきの盛さかり
は 惜をしきものなり

三九〇五番

遊あそぶ内うちの 楽たのしき庭にはに 梅うめ柳やなぎ 折おりかざしてば
思おもひなみかも

三九〇六番

み園その生ふの 百木ももの梅きの 散ちる花はなし 天あめに飛とび上あが
り 雪ゆきと降ふりけむ